

阿武隈川上流遊水地群整備事業

令和元年東日本台風により阿武隈川流域全体で甚大な被害が発生したことを踏まえ、国土交通省では「阿武隈川緊急治水対策プロジェクト」に基づき、玉川村、鏡石町、矢吹町に、約 350 ヘクタール（東京ディズニーランドの約 7 倍）に及び大規模な遊水地群（阿武隈川上流遊水地群）の整備を進めています。

遊水地は、洪水で川の水が増えた際、その水を一時的に貯め込み、川の水位を下げることで下流域の浸水被害等を軽減するもので、阿武隈川上流遊水地群の整備により、郡山市の阿久津水位観測所（阿久津町）付近では、河道掘削による効果と合わせて洪水時に約 0.8m 水位が低下することが見込まれています。

令和 10 年度の完成に向け、現在用地協議等が進められており、令和 6 年 9 月からは、遊水地整備に伴い架け替えをする橋梁の関連工事が始まる計画となっています。

また、完成後の遊水地内の利活用が課題であることから、令和 6 年 1 月に阿武隈川上流遊水地群地内利活用検討会（国、県、3 町村及び有識者等）を立ち上げ、地域振興にも資する活用方法の検討を進めています。

遊水地群全体計画図（令和 6 年 7 月現在）



令和元年東日本台風による被害状況



付け替え道路予定断面（竜崎地区）

